



7月15日に1周年を迎えた「佐川おもちゃ美術館」。記念行事として、けん玉ワールドカップ世界1位に輝いたイダ・マックスさん(写真中央・高知市在住)率いるモシカメボーイズが、けん玉パフォーマンスを披露。「木のおもちゃけん玉」の楽しさ、かっこよさがつまったステージに子供たちは憧憬の眼差しを向けていました。

PICK UP CONTENTS

- P 2 佐川町文化祭 50周年
- P 4 高北病院
- P 5 かわせみからのおしらせ
- P 7 おしらせ
- P 14 ボタニカルニュース
- P 15 さかわ観光協会
- P 16 さかわ発明ラボNEWS
- P 18 地質館だより - 桜座 Information
- P 19 青山文庫だより
- P 20 としょかんだより
- P 21 さかわ学校だより - 加茂中学校



昭和 49年 文化展開会のテープカットをする大西実行委員会委員長と渡辺町長

「文教の地といわれる佐川町に、地方文化を発表する場としての文化展も開催されていないことはまことに淋しいかぎり」

この言葉をきっかけに始まった、佐川町文化祭。第1回は、昭和49年11月23日から24日にかけて、今でいう美術部門のみの「佐川町文化展」として開催されました。

当初は会場となる佐川小学校講堂に前日の正午までに作品を持ち込めばよいということもあってか、一般の部259点、小中学生の作品を合わせると約2000点がところ狭しと並べられ、来場者も1600人以上と、主催者の予想を遙かに上回る人となりました。

佐川町文化祭50周年



昭和 50年 第1回芸能祭 (佐高体育館)



昭和 50年 第2回文化展 (佐小講堂)

昭和50年からは、佐川高校体育館にて、芸能祭が始まります。

文化展・芸能祭を合わせ初めて文化祭と呼んだのは、翌51年のことでしたが、その年以降は文化展・芸能祭と元の名称で個別に呼ばれることがほとんどでした。

昭和53年、総合文化センターが落成。文化展・芸能祭の会場もこちらに移ることとなります。その後は佐川ルネサンス運動(まちづくり構想)の核をなす催しとし、その歴史は脈々と続いていきます。

平成3年、文化展は美術展と名称が変更されます。時折文化祭という表現も見られますが、相変わらず美術展・芸能祭と呼ばれていました。

平成15年、芸能祭の開催場所が桜座に移ります。そしてついに、平成25年、美術展の歴史を引き継ぎ、正式に「第40回佐川町文化祭」にリニューアルされたのです。美術・芸能ともに各部門となり、1つのイベントとして開催されるようになりました。平成27年からは美術部門の展示も桜座で行われ、現在の「佐川町文化祭」の形が出来上がったのです。

今年、初開催より半世紀、50回目の記念の文化祭です。開催に向けて佐川町文化推進協議会による物品販売や体験コーナーなど様々なイベントを予定しております。



昭和 52年 芸能祭 尾川中生のフォークダンス (佐高体育館)

皆様のふるつての参加
お待ちしております。



平成 6年 芸能祭 (文化センター)



平成 28年 芸能祭 (桜座)

※今年度の美術部門募集要項は 10 ページに掲載されておりますので、どうぞご覧ください。



平成 22年 美術展での展示 (文化センター)



令和元年 美術展 (桜座)